

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八代射撃場	所管課	スポーツ健康課
所在地	笛吹市八代町竹居字大口山	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年4月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立射撃場設置及び管理条例		
設置目的	射撃の普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	空気銃射撃場37座 ビームライフル射撃場6座 固定標的射撃場(スモールポア)26射座 駐車場台数:乗用車70台		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	エアライフル	1,621	1,177	1,292	
	小口径ライフル	1,083	709	619	
	ビームライフル	584	649	588	
	利用者数合計	3,288	2,535	2,499	
	目標値	3,100	2,600	2,352	2,352
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度と同様の目標値を設定した。	近県射撃場が再開したことを考慮し、前年度実績から約2割減の数値を設定した。	利用者の減少を勘案し、収支計画における数値を目標値として設定した。	利用者数の減少傾向及び昨年度実績を勘案し、前年度と同様の目標数を設定した。
	対24年度比	100.0%	77.1%	76.0%	71.5%
稼働率					

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	1,254,895	1,307,000	1,186,159	1,136,000
	指定管理者委託料	5,469,000	5,198,000	5,198,000	5,491,000
	その他	139,702	18,000	147,714	15,000
	収入合計(A)	6,863,597	6,523,000	6,531,873	6,642,000
支 出	人件費	4,223,461	4,365,000	4,244,854	4,365,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	1,968,964	2,158,000	2,157,190	2,277,000
	うち外部委託費(B)	237,300	251,000	250,560	251,000
	支出合計(C)	6,192,425	6,523,000	6,402,044	6,642,000
収支差額(A-C)		671,172	0	129,829	0
外部委託比率(B÷C)		3.8%	3.8%	3.9%	3.8%
利用者一人当たりの経費		2,157.4	2,210.0	2,080.0	2,334.6

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成26年5月、8月、11月、平成27年3月 実施方法：施設利用者へのアンケート 回答数：72人
-------	---

単位：%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
施設設備の整備状況	41.0%	35.0%	23.0%	1.0%
利用予約、手続き	79.0%	10.0%	3.0%	8.0%
利用料金	63.0%	29.0%	7.0%	1.0%
職員の対応	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
施設全般の満足度	47.0%	46.0%	7.0%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・射場内が暗くて、的が見えにくい。 ・SB射場の標的の上げ下げに人が登る必要があって危険性を感じた。 ・そろそろ電子標的に何台か交換してほしい。 ・屋根がなかったので風雨の日は、射撃に支障があったので何とかしてほしい。 ・トイレの洋式を増やしてほしい。 ・トイレが汚い。射場近くにあるトイレを整備して欲しい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備改善については、県教育委員会に対して予算要望を行っている。 ・職員の対応で改善できる事項については改善を図った。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書どおり実施した。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 利用者の衛生環境の確保などについては、利用者の意見を参考に創意工夫を図ること。
運営業務	業務計画書どおり実施した。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き、業務計画書に基づき適正に業務を行うこと。
自主事業	業務計画書どおり実施した。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き、利用者サービスの向上に努め、利用促進を図ること。
利用状況	平成25年から県外利用者の減少傾向は続いているが、ほぼ昨年並みの利用実績であった。	利用者数は減少傾向にあるが、引き続き合宿利用者に向けた広報活動など、利用促進に努めること。
収支状況	修繕や除草及び処分のため計画以上に経費を要したが、予算の範囲内で執行する事が出来た。また、その他経費についてはコスト意識を持って、経費の節減に努めた。	経費の節減を図りながら、必要な修繕を実施しており、適正な管理業務が実施されている。 引き続き、経営努力とともに利用促進に努めること。
利用者満足度	職員の対応について高い評価を得る事が出来た。古い施設・設備ではあるが、良好に整備された環境を維持している努力の成果と考える。 標的の古さや屋根のない施設及びトイレの水洗化が遅れていることで、満足度が昨年より2%低下した。	老朽化がみられる施設であるが、利用者アンケートにおいて高い評価を得ている点は評価できる。 今後も、利用者ニーズを把握したサービスの向上に努めること。
運営目標の達成状況	利用者数目標値2,352人に対し、実績が2,499人であり、達成率は106.2%と目標を達成できた。しかし対前年比では98.6%と若干下回った。射撃部員の減少や、近県射撃場再開の影響が大きい。また、重量ある標的を設置する手間なども利用率の低下に影響していると考え。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	業務計画書に基づき、適正に業務が執行されている。 今後も、利用者ニーズを把握しながら、良好な施設環境の維持をはじめとした管理運営業務に努め、積極的な広報活動など利用促進に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	今後も協定及び業務計画書等に基づき、施設の環境整備など適正に管理運営に努めていく。 引き続き経費削減に努めるとともに、利用案内の送付など積極的な広報を行っていく。 また、利用者ニーズを把握して管理運営業務に反映させると共に、利用者数の減少が少しでも抑えられるよう図っていく。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

